



JAPAN AIRLINES



SKYWARD

February 2015

2

HOLLYWOOD

ロサンゼルス Los Angeles

ハリウッド 映画の生まれる街

沖縄 Okinawa
やんばる、のんびり散歩

函館 Hakodate
待ちわびて、春

ご搭乗のお客さまはご自由にお持ち帰りください

メロウインターナショナル エアライン部門
JAL世界第一位
スカイワール ネットワーク部門
JALグループ世界第一位

フクギ並木に沿って広がる備瀬ビーチに、冬の静かな時間が流れる。

沖縄

やんばる、 のんびり散歩

柔らかな日差しが降り注ぐ冬の沖縄。
山と海が複雑な景観を生み出す本島北部は『やんばる』と呼ばれ、
南の島のリゾートのイメージとは少し趣が異なる。
昔ながらの風景が残る集落や、緑豊かな自然の山々、
夏は多くの人で賑わう観光スポットにも静かな時間が訪れる。
のんびりと過ごす家族旅行には今の季節がよいと聞き、
それを確かめる旅に出た。



文／永田さち子
Text by Sachiko Nagata
撮影／安村直樹
Photographs by Naoki Yasumura



01. 沖縄の伝統家屋の様式を取り入れた『カフェこくう』。02. 島野菜を中心とした『こくうプレート』(1,200円、税込)。03. 全長約2kmの古宇利大橋は、ドライブでの見所のひとつ。04. 名もない小さな入り江にも、車を止めてみたくなる景色がある。05. 嵐山展望台から望む、やんばるの羽地内海。

絶景スポットとカフェを
巡るスロードライブ

「山原」と書いて「やんばる」と読む。那覇市内から約70キロメートル離れた名護市から北の沖縄本島一帯をこう呼ぶのは、山がちな地形で深い森も多かったためという。

海岸線を走る車から外の景色を眺めていると、亜熱帯らしいマンングローブが続くかと思えば入り組んだ湾が現れ、変化に富んだ海岸線に飽きることがない。心なしか、那覇を出た頃より周囲の車もゆっくり走っているように見えた。

眺めのいい場所です昼食を取りたいと思い、今帰仁村の高台にある「カフェこくう」を訪れた。ここは名護市内から約7〜8キロメートル。世界遺産に登録された今帰仁城跡があることでも知られる村である。

「フーチバー（ヨモギ）、サクナ（長命草）」といった沖縄独特の島野菜の旬は、今の季節です」と、店主の熊谷祐介さん。気温が高い夏場は採れる野菜が限られるが、冬になると薬物や島ダイコン、島ニンジン、ハーブ類もよく育つため、料理のバリエーションが増えるのだとか。

この店の料理は野菜中心だが、子どもにも楽しめるよう、器や盛り付けに工夫が凝らされている。「これ、初めて食べるね。なんていう名前の野菜かな？」

普段の食卓では見慣れない野菜の数々に、会話を弾ませながら食事をすすめる家族連れの声がかえってきた。

食後は再び車に乗り、本部半島とは橋で繋がる屋我地島と古宇利島までのドライブへ。濃淡のコバルトブルーの海に架かる橋の下に透けて見えるサンゴ礁に、南の島を訪れていることを実感する。本部半島と屋我地島に囲まれた内海が羽地内海だ。海沿いの道から内陸部を目指し、パインナップル畑の間を縫って続く道を上りきると、その羽地内海を一望する嵐山展望台に到着する。ここから先ほど走ってきた屋我地島に架かるアーチ状の橋や、穏やかな海に浮かぶ小島が眺められる。展望台に設置された案内マップと実際の風景を見比べ、島と橋の名前をひとつひとつ確認し合う家族の姿が微笑ましい。

沖縄の景色のいい場所を巡るドライブで、夏ほど渋滞に悩まされることが少なく、行く先々でゆったり過ごすことができるのも、今の季節ならではの楽しみといえるだろう。

約2万本のフクギが連なる並木道。木洩れ日の下を歩くだけで、ゆったりした気分になる。

備瀬 フクギ並木歴史探訪
☎090-6863-4055 (問い合わせ先
/NPO法人備瀬・島づくりの会)
📍国頭郡本部町字備瀬624 ¥2名
1,500円、1名追加ごとに500円
(税込) \ 要予約。所要約1時間
🌐blog.goo.ne.jp/biseclub



01. 備瀬の環境を守りながら、生活文化を伝える活動をする喜屋武さん。02. 夏は賑わう海辺もこの季節はとて静か。03.04. 紅イモなど沖縄らしい素材を加えた『しまドーナツ』の焼きドーナツ(種類により価格が異なる。1個150円~180円、税込)。

沖縄の原風景が今も残る
フクギ並木の集落へ

昔から沖縄の海辺の集落では、防風林としてフクギ並木が築かれてきた。肉厚の葉が重なり合う常緑樹は名前の響きから「福をもたらす木」として大切にされ、海風や塩害から家々を守ってきたのだ。現在ではその数は減ってしまったが、昔ながらの並木と古民家が残されているのが、本部町の備瀬地区である。

ここで民宿を営む傍らNPO法人を立ち上げ、備瀬の歴史と生活文化を紹介する活動を行う喜屋武信さんのガイドツアーに参加した。

備瀬の集落は琉球王朝時代、風水に基づきフクギ並木とともに整備されたという。精霊の木、ガジュマルの根元に置かれた『ニージクの石』を中心に、碁盤目状に巡らされた道を喜屋武さんの案内で歩く。

「十字路が少しずらずらしてあり、道も緩やかにカーブしているのがわかりますか。風を殺す」といって、強い風が通り抜けないための工夫なのです」と喜屋武さん。

フクギに守られた家屋を見せてもらうと、魔よけのシーサーを掲げた

屋根、「ヒンブン」と呼ばれる目隠し用の塀がある伝統家屋の造りとともに、玄関を使わず縁側から出入りするという生活習慣も興味深い。「小学生の頃、友だちとフクギの枝や葉を伝って、集落の端から端まで一度も地面に下りずにたどり着く競争をして遊んだんだよ」

喜屋武さんの口から子ども時代のエピソードが語られると、一緒にツアーを回った家族の男の子の目が、ヒーローを見つめるように輝いた。

ツアー終了後、備瀬ビーチの散策を楽しみ、次に訪れたのは古民家の面影を残す名護市内の小さな店。

オーナーの山本真穂さんが結婚・出産を機に那覇から移り住みオープンした『しまドーナツ』では、島豆腐のおから、九州産全粒粉の小麦粉でつくるドーナツを販売している。「子どもが生まれ、手づくりのおやつを食べさせてあげたいと思ったのがきっかけです」と山本さん。子ども

ものいる近所のお母さんたちや、最近では旅行者にもその名が広まり、閉店時間の2~3時間前に売り切れることも珍しくないとか。油で揚げず焼いているため、さっくりと軽い味わいで、子どもの頃に食べた素朴なおやつを思い出した。



ゆったり
島歩き

01,02. 動物と触れ合える『あいあい手づくりファーム』。03. 家族でゆし豆腐づくりを体験。04. ~07. 『YANBARU HARUSAA'S TABLE Cookhal』では自家製ソーセージを使った『YAKI-Panino』(800円、税込)や島野菜のカレーも味わえる。



08. 海洋博公園内にある『沖縄美ら海水族館』。09,11. 『ホテル オリオン モトリゾート&スパ』のキッズルーム。テラスから眺める夕日も楽しみ。10. 天体望遠鏡で観測をする『JALプライベートリゾート オクマ』の『美ら星ウォッチング』。



初めての体験の数々に 大人も子どもも夢中に

やんばるには家族で訪れると楽しいスポットが増えていくと聞き、いくつか回ってみることにした。そのなかのひとつ、今帰仁村の『あいあい手づくりファーム』は、廃校になった小学校を利用した体験工房。かつての職員室や教室の面影が残り、その懐かしさのせいかわ2世代、3世代で訪れる人々も多く見掛けた。

休日になると地元の家族連れで賑わうのが、名護市にあるカフェ『YANBARU HARUSAA'S TABLE Cookhal』。採れたての野菜を販売するコーナー、隣接する工房でつくするハム、ベーコンも人気だ。オーナーの芳野幸雄さんは、地元農家と飲食店が、やんばるはおいしいを合言葉に立ち上げたグループ『やんばる畑人プロジェクト』の発起人。『畑人』とは農業従事者のことを意味する沖縄の方言である。

「地元の人でも知らない島野菜があり、その物珍しさも手伝ってか、若い世代のご家族連れが多いですね。やんばるは魚も豚肉も、スパイスになるハーブもある、沖縄の食の宝庫

なんですよ」と芳野さん。自家製ソーセージを噛みしめると、その旨みを凝縮した味わいだ。

北部に来たなら、やっぱり訪れておきたいのが本部町の『沖縄美ら海水族館』。ここでは世界最大級の水槽のなかを悠々と泳ぐジンベエザメやマンタの姿に、大人も子どもも時間を忘れて見とれている。隣接する『ホテル オリオン モトリゾート&スパ』では水族館の人気者、ジンベエザメやクマノミのイラストが壁に描かれたキッズルームが大人気。水族館を訪れたあと、ホテル内でのんびり過ごす家族連れも少なくない。

海や山で遊ぶアクティビティーを豊富に用意しているのが、国頭村の『JALプライベートリゾートオクマ』。街灯りの影響が少ない山の天文台へ出掛けて体験する『美ら星ウォッチング』がおすすめだ。

こうして巡ってみると、やんばるの施設やホテルには思い思いの時間を過ごし、家族旅行を楽しむ人々がいた。柔らかな日差しの中、ビーチを散策したり、テラスで空の色が変わっていくのを眺めながらサンセットの瞬間を待つ……。この季節だからこそ、こんな穏やかな過ごし方をするのもいいのではないだろうか。



ガイドウォークのクライマックスは、高さ10mの岩場から勢いよく流れ落ちる滝。

やんばる学びの森
☎0980-41-7979 ●国頭郡国頭村
宇安波1301-7 ●なし¥リバーソ
ングガイドウォーク 中学生以
上3,100円、小学生2,050円(各
税込) \ 要予約 10:00・14:00
開始の1日2回、所要約2時間
※小学4年生以上から参加可

www.atabii.jp

希少生物が暮らす亜熱帯の 森を歩くガイドウォーク

ヤンバルクイナ、ノグチゲラといった希少な固有種が多く生息する森があるのも、やんばるの森の特長だ。旅の最終日、この森を遊びの場として利用している「やんばる学びの森」を訪れた。無料で利用できる敷地内のアスレチック広場は、家族連れのアウトドア体験に人気の施設。ここで、ネイチャートレイルを歩くプログラムに参加することにした。今回プログラムから選んだのは、

沢沿いの自然散策路を歩く「リバーソングガイドウォーク」。周辺の生態系を守るため、ガイドが同行する場合のみ入場して歩くことができるというコースだ。

「朝、ビジターセンターの前庭をヤンバルクイナが歩いているのをよく見掛けますよ。そういえば、今朝も2羽ほどいましたね」とガイドの大城雄聖さん。一緒に参加した男子はお父さんと顔を見合わせ、出発が待ちきれない様子だ。世界中での辺りにしかない生き物に遭遇するかもしれないと聞けば、大人だつてわくわくしてくるではないか。

溪流沿いに渡された木道では、川のせせらぎがまさに「リバーソング」のように聞こえてくる。大人の背丈より高く育つ亜熱帯のシダ類を見上げながら進むと、足元から聞こえていたせせらぎが高い場所から落ちる水音に変わった。目の前に谷底へ下りる急勾配の階段が現れ、手すりを頼りに下りた先に見えたのは、約10メートルの高さから流れ落ちる滝。海の印象が強い沖縄に、こんなに深い森があったとは。

温暖なため、爬虫類や両生類が冬眠することなく、北から越冬のために渡って来る鳥たちの種類も増える今の季節、森は生きものの気配でいっぱいそう賑やかになるのだという。少しずつ耳が慣れるに従い、滝の音に混じって遠くでさえずる鳥の声も聞き分けられるようになる。約2時間のプログラムでは、男の子が行く先々で見るものに目を輝かせ、拾った葉っぱや木の実を逐一、お母さんに報告する姿が愛らしかった。

冬の沖縄は南の島とはいえ、海で泳ぐにはまだ少し早い。その代わり緑豊かな自然と、のんびり過ごせる時間がある。このような体験が、家族の存在をより身近なものに感じさせてくれるに違いない。



01. 森は希少な生き物の宝庫。02. 特別天然記念物のノグチゲラや、水辺では大人の握りこぶしほどの大きさのナミエガエルに出合えることも。03.04. 図鑑と目の前の動植物を見比べながら解説をする大城さん。05. 大きなどんぐりを発見！06. 急階段の下に流が現れる。

Information of Okinawa

口径 350mm の天体望遠鏡で冬の星座を観察

美ら星ウォッチング



国頭村森林公園天文台へ出掛け、オリオン座、アンドロメダ、冬の三角など季節の星座を学ぶ。

問合せ先/JALプライベートリゾート オクマ エコミュージアム ☎0980-41-2231 📍国頭郡国頭村字奥間913 🚗なし ¥中学生以上2,500円、3歳～小学生1,500円(各税別)、3歳未満無料 📅要予約。

2月19:00、3月～10月19:30、11月～1月18:00開始、所要約1.5時間 ※雨天、曇天時は中止 🌐www.jalokuma.co.jp/activity/112

地元の農業者グループが営むカフェ&ショップ

YANBARU HARUSAA'S TABLE Cookhal



新鮮な野菜、隣接する食材加工場でつくるハム、ソーセージなどを使った料理を味わえるカフェ。

☎0980-43-7170 📍名護市名護4607-1 (ネオパークオキナワ駐車場奥) 🕒9:00～17:00 (16:30ラストオーダー、ランチは11:00～) 📅日

🌐cooksonia.net

今帰仁の森から海まで一望できる高台のカフェ

カフェこくう



和食料理人のご主人とマクロビオティックを実践中の奥さまがつくる、野菜中心の料理が味わえる。

☎0980-56-1321 📍国頭郡今帰仁村字諸志2031-138 (希望ヶ丘内) 🕒11:30～18:00 (17:30ラストオーダー、売り切れ次第終了) 📅日・月

🌐miyupapa2.ti-da.net

子どもに食べさせたい素朴な手づくりおやつ

しまドーナツ



紅イモ、jee-mee-mee (ピーナッツ) など11種類のドーナツが並び、カフェスペースもある。

☎0980-54-0089 📍名護市伊差川270 🕒11:00～16:00 (売り切れ次第終了) 📅日・祝日

🌐shimado.ti-da.net

廃校になった小学校を利用した体験施設

あいあい手づくりファーム



体験工房、農家レストラン、直売所のほか宿泊棟も備えているので、家族で宿泊しても楽しい。

☎0980-51-5111 📍国頭郡今帰仁村字湧川369

🚗水 ¥ゆし豆腐づくり1,800円(税別)など 📅要予約。10:00・13:30開始の1日2回、所要約1.5時間。4名以上で実施 🌐happy-aiiaifarm.com

神秘に満ちた沖縄の海を再現

沖縄美ら海水族館



世界最大級の水槽に全長8.5mのジンベエザメ、マンタなどが悠々と泳ぐ光景を眺められる。

☎0980-48-3748 📍国頭郡本部町字石川424 海洋博公園内 🕒10月～2月8:30～18:30 (入館は17:30まで)、3月～9月8:30～20:00 (入館は19:00まで) 📅12月の第1水とその翌日 ¥大人

1,850円、高校生1,230円、小・中学生610円(各税込)、6歳未満無料。16:00以降入館の場合、割引チケットあり 🌐oki-churaumi.jp

やんばる観光の拠点にぴったりのリゾートホテル

ホテル オリオン モトブ リゾート&スパ



エメラルドビーチに面して建ち、水族館をイメージしたキッズルームが3室ある。沖縄料理を味わえるレストラン、天然温泉の大浴場も備える。

☎0980-51-7300 📍国頭郡本部町備瀬148-1

🌐www.okinawaresort-orion.com/



✈️ 沖縄 (那覇) へのアクセス

東京(羽田)、大阪(伊丹・関西)、名古屋(中部)、福岡、小松、岡山、奄美大島、与論、北大東、南大東、久米島、宮古、石垣、与那国などから、沖縄(那覇)空港へJALグループ便が毎日運航。



協力/沖縄県・沖縄観光コンベンションビューロー